

事業評価書

補助事業名	交通施設：市道小108号線外1道路改良工事				
補助事業者名	小美玉市長				
実施場所	小美玉市山野地内				
補助事業の成果の目標	<p>当路線は、川戸地区及び山野地区の住民が野田小学校や小川市街地へ向かう生活道路として利用されているとともに、災害時には小美玉市医療センターや消防本部と当地区を結ぶ非常に重要な道路となる。</p> <p>しかし、現道が狭隘なため、車両同士の離合が困難な状況にあり、さらに道路側溝が未整備であることから、大雨時には雨水が民地に入り、水たまりができてしまうことで住民の生活環境に支障をきたしている。</p> <p>これらを改善するため、現道の拡幅及び道路側溝の整備を行い、交通の安全性の確保及び地域住民の生活環境の向上を図る。</p> <p>【参考指標】 対象地区（川戸地区及び山野地区）人口／世帯数：2,988人／1,168世帯 （平成30年4月1日現在）</p>				
補助事業の内容	道路改良工事 L=217.0m W=4.0m/8.1m				
補助事業の始期及び終期	平成28年度から平成30年度				
事業費及び交付金額		平成29年度以前	平成30年度	令和元年度以降予定	計
	事業費	88,657,200円	35,100,000円		123,757,200円
	交付金額	81,000,000円	30,000,000円		111,000,000円
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>【補助事業の成果及び評価】 全線供用を開始した。地元区長に対して意見を聴取したところ、見通しが良くなったおかげでスムーズに通行できるようになり、側溝の整備により宅地や畑に雨水が流れ込まなくなったとのことで交通の安全性の確保及び地域住民の生活環境の向上が図られたと評価を頂いた。</p> <p>【地域住民への周知の実施状況】 本事業が交付金を活用した事業である旨を、 ①地区回覧により周知 ②工事期間中、工事看板に記載 ③市ホームページに掲載</p>				
事業の改善措置及び今後の対応	無				
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無				

事業評価書

補助事業名	交通施設：市道小10371号線外1道路改良工事			
補助事業者名	小美玉市長			
実施場所	小美玉市野田地内			
補助事業の成果の目標	<p>当路線は、野田地区の住民が野田小学校や小川市街地へ向かう生活道路として利用されているとともに、災害時には、小美玉市医療センターや消防本部と当地区を結ぶ非常に重要な道路である。</p> <p>しかし、現道が狭隘なため、車両同士の離合が困難な状況にあり、さらに道路側溝が未整備であることから、大雨時には雨水が民地に入り、水たまりができてしまうことで住民の生活環境に支障をきたしている。これを改善するため、現道の拡幅及び道路側溝の整備を行い、交通の安全性の確保及び地域住民の生活環境の向上を図る。</p> <p>【参考指標】対象地区（野田地区）人口／世帯数：2,572人／1,010世帯 (平成30年4月1日現在)</p>			
補助事業の内容	道路改良工事 L=229m W=4.0m/6.2m			
補助事業の始期及び終期	平成23年度から平成30年度			
事業費及び交付金額		平成29年度以前	平成30年度	計
	事業費	122,529,602 円	30,812,400 円	153,342,002 円
	交付金額	112,700,000 円	28,000,000 円	140,700,000 円
補助事業の成果及び並びに地域住民への周知の実施状況	<p>【補助事業の成果及び評価】</p> <p>当路線は、30年度で工事が完了し全区間で供用を開始した。地元区長に対して意見を聴取したところ、見通しが良くなったおかげでスムーズに通行できるようになり、側溝の整備により宅地や畑に雨水が流れ込まなくなったとのことで、交通の安全性の確保及び地域住民の生活環境の向上が図られたと考える。</p> <p>【地域住民への周知の実施状況】</p> <p>本事業が交付金を活用した事業である旨を、</p> <p>①地区回覧により周知 ②工事期間中、工事看板に記載 ③市ホームページに掲載</p>			
事業の改善措置及び今後の対応	無			
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無			

事業評価書

補助事業名	交通施設：市道小20194号線外2道路改良工事			
補助事業者名	小美玉市長			
実施場所	小美玉市飯前地内			
補助事業の成果の目標	<p>当路線は、飯前地区の住民が小川市街地へ向かう生活道路として利用されているとともに、災害時には小美玉市医療センターや消防本部と当地区を結ぶ非常に重要な道路となる。</p> <p>しかし、現道が狭隘なため、車両同士の離合が困難な状況にあり、さらに道路側溝が未整備であることから、大雨時には雨水が民地に入り、水たまりができてしまうことで住民の生活環境に支障をきたしている。これらを改善するため、現道の拡幅及び道路側溝の整備を行い、交通の安全性の確保及び地域住民の生活環境の向上を図る。</p> <p>【参考指標】対象地区（飯前地区）人口／世帯数：1,072人／420世帯 (平成30年4月1日現在)</p>			
補助事業の内容	道路改良工事 L=234.4m W=4.0m/6.2m			
補助事業の始期及び終期	平成21年度から平成30年度			
事業費及び交付金額		平成29年度以前	平成30年度	計
	事業費	219,437,037円	29,991,600円	249,428,637円
	交付金額	202,920,000円	27,000,000円	229,920,000円
補助事業の成果及び並びに地域住民への周知の実施状況	<p>【補助事業の成果及び評価】 当路線の全区間で供用を開始した。地元区長に対して意見を聴取したところ、見通しが良くなったおかげでスムーズに通行できるようになり、側溝の整備により宅地や畑に雨水が流れ込まなくなったとのことで交通の安全性の確保及び地域住民の生活環境の向上が図られたと考える。</p> <p>【地域住民への周知の実施状況】 本事業が交付金を活用した事業である旨を、 ①地区回覧により周知 ②工事期間中、工事看板に記載 ③市ホームページに掲載</p>			
事業の改善措置及び今後の対応	無			
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無			

事業評価書

補助事業名	交通施設：市道小10742号線外2道路改良工事				
補助事業者名	小美玉市長				
実施場所	小美玉市中延地内				
補助事業の成果の目標	<p>当路線は、中延地区の住民が小川地区市街地へ向かう生活道路として利用されているとともに、県道玉里水戸線と市道小201号線を結ぶ道路でもある。</p> <p>しかし、現道は全線にわたり狭隘なため、車両同士の離合が困難な状況であり、さらに道路側溝が未整備であることから、大雨時には雨水が民地に入り、水たまりができてしまうことで住民の生活環境に支障をきたしている。</p> <p>よって、これらを改善するため、現道の道路拡幅及び道路側溝の整備を行い、交通の安全性の確保及び地域住民の生活環境の向上を図る。</p> <p>【参考指標】対象地区（中延地区）人口／世帯数：1,409人／565世帯 （平成30年4月1日現在）</p>				
補助事業の内容	用地補償・物件補償 A=25.53m ² 道路改良工事 L=180m W=4.0m				
補助事業の始期及び終期	平成21年度から令和2年度				
事業費及び交付金		平成29年度以前	平成30年度	令和元年度以降予定	計
	事業費	円 133,141,049	円 27,058,991	円 139,064,928	円 299,264,968
	交付金額	円 122,800,000	円 21,900,000	円 133,000,000	円 277,700,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>【補助事業の成果及び評価】 当路線においては、平成29年度より工事に着手している。全線供用開始後、地元区長に対して意見を聴取することとしているが、「車両のすれ違いが可能となり利便性が向上した」や「見通しが良くなり危険がなくなった」など、既に工事完了区間については高い評価を頂いている。</p> <p>【地域住民への周知の実施状況】 本事業が交付金を活用した事業である旨を、 ①地区回覧により周知。 ②工事期間中、工事看板に記載。 ③市ホームページにて掲載</p>				
事業の改善措置及び今後の対応	無				
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無				

事業評価書

補助事業名	消防に関する施設：耐震性貯水槽設置				
補助事業者名	小美玉市長				
実施場所	小美玉市与沢 外1箇所				
補助事業の成果の目標	<p>本市の旧小川町は、旧美野里町や旧玉里村に比べ、消火栓や防火水槽等の消防水利の整備が未だ不十分な地域である。</p> <p>旧小川町では、平成24年1月に10棟が全焼、4棟が部分焼となる火災が発生し、1名の焼死者を出した。また、東日本大震災時には、火災発生が1件で大惨事に至らなかったが、断水の影響で消火栓が使用できない状態となった。</p> <p>そこで、先般の東日本大震災や今後想定されている首都直下型地震等の予期せぬ災害に備え、消火活動に必要な水源を確保するために、耐震性貯水槽を整備し、消防力の強化を図り、住民が安心して安全な暮らしができる環境に寄与することを目的とする。</p> <p>【参考指標】 整備予定地区の人口／世帯数：与沢地区 504人/186世帯 下田（一）地区 222人/92世帯 (H30.4.1現在)</p>				
補助事業の内容	工事2基				
補助事業の始期及び終期	平成28年度から令和元年度				
事業費及び交付金		平成29年度以前	平成30年度	令和元年度以降予定	計
	事業費	16,340,400円	13,521,600円	8,700,000円	38,562,000円
	交付金額	15,100,000円	12,320,000円	7,800,000円	35,220,000円
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>[補助事業の成果及び評価] 与沢、中延下田（一）地区における耐震性貯水槽の整備が完了した。各地元区長に対して意見を聴取したところ、耐震性貯水槽が整備されたことにより、住民が安心して安全な暮らしができる環境が図られたと考える。</p> <p>[地域住民への周知の実施状況] 工事看板、地区回覧、防火水槽の標識（支柱）に調整交付金事業である旨記載をした。また、市ホームページ及び広報紙に掲載をした。</p>				
事業の改善措置及び今後の対応	無				
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無				

事業評価書

補助事業名	環境衛生施設：防犯カメラ整備工事				
補助事業者名	小美玉市長				
実施場所	小美玉市小川・玉里地区内				
補助事業の成果の目標	<p>防犯カメラ整備を進めていく背景として、自治会・町内会加入率の低下、近所付き合いの希薄化、地域活動の担い手不足などにより、自治会・町内会の機能が十分に発揮されなくなっていることが指摘されている。</p> <p>小美玉市においても、防犯ボランティア団体数が平成28年度の19団体で頭打ちとなり、以後減少傾向にある。これは、構成員の高齢化や引継ぎの問題が生じ、活動停止や活動内容の縮小などで団体の統廃合に陥ったためである。</p> <p>このようなことから、基地周辺住民が安全で安心して暮らせるまちづくりのため、街頭犯罪抑止等の目的で防犯カメラの整備を推進し、住民の防犯意識の向上を図るとともに、犯罪への抑止効果を高めることで市内の犯罪を減少させ、住民の体感治安の向上を図るものである。</p> <p>【参考指標】 対象地区（小川・玉里地区）人口／世帯数： 25,499人／10,564世帯 小美玉市内防犯ボランティア団体数： 18団体（小川・玉里地区10団体） （平成30年9月1日現在）</p>				
補助事業の内容	防犯カメラ整備工事 10基				
補助事業の始期及び終期	平成30年度から平成30年度				
事業費及び交付金額		平成29年度以前	平成30年度		計
	事業費	円 0	円 5,216,400	円	円 5,216,400
	交付金額	円 0	円 4,000,000	円	円 4,000,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>【補助事業の成果及び評価】 当施設は、30年度で工事が完了し供用を開始した。地元防犯ボランティア団体に対して意見を聴取したところ、カメラが設置されたことにより防犯意識が高まり、犯罪抑止に多大なる効果発揮され地域住民が安心して暮らせる生活環境の向上が図られたと考える。</p> <p>【地域住民への周知の実施状況】 本事業が交付金を活用した事業である旨を、 ①防犯カメラ設置標識に補助事業名記載 ②市ホームページに掲載</p>				
事業の改善措置及び今後の対応	無				
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無				

事業評価書

補助事業名	百里飛行場関連公共用施設（通信施設：Jアラート受信システム更新委託業務）整備事業			
補助事業者名	小美玉市長			
実施場所	小美玉市堅倉835番地（小美玉市役所）			
補助事業の成果の目標	<p>新型のJアラート受信システムに更新することにより、情報伝達に要する処理時間の短縮や特別警報等の伝達情報の充実が可能となり、市民へ緊急情報を確実に通報することにより、被害の軽減を図る。</p> <p>【参考指標】 対象（市内全域）人口／世帯数：51,332人／20,839世帯 （平成30年7月1日現在）</p>			
補助事業の内容	Jアラート受信システムの機器更新			
補助事業の始期及び終期	平成30年度			
事業費及び交付金額		平成30年度		計
	事業費	3,240,000 円	円	円
	交付金額	3,100,000 円	円	円
補助事業の成果及び並びに地域住民への周知の実施状況	<p>【補助事業の成果及び評価】 Jアラートはミサイル攻撃などの国民保護情報や大雨特別警報や地震情報など、対処に時間的余裕のない事態に関する情報を防災行政無線等により、国から住民まで瞬時に伝達するシステムである。 更新を行ったことにより、情報処理速度が向上し、より速やかに住民への情報伝達を行うことが可能になり、災害時の被害軽減が図られたと考える。</p> <p>【地域住民への周知の実施状況】 本事業が交付金を活用した事業である旨を、 ①市ホームページに掲載 ②広報紙に掲載</p>			
事業の改善措置及び今後の対応	無			
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無			

事業評価書

補助事業名	百里飛行場関連公共用施設（交通施設：地域循環バス購入事業）					
補助事業者名	小美玉市長 島田 穰一					
実施場所	茨城県小美玉市内					
補助事業の成果の目標	<p>本事業は、百里飛行場を含む小川地区を巡回する地域循環バスの購入事業である。地域循環バスの車両購入に伴い公共交通を確保する事により、交通空白地域の解消を図り、基地周辺住民の生活における利便性の向上に繋げることができる。</p> <p>しかし現在の運行は、昨年の車両衝突事故により車両が使用不能となり、運行委託業者の代替車両にて運行していることから、利用者に不便をきたしている。</p> <p>よって、車両を新しく購入し、これらを改善するため、走行性・安全性を備えた車両を購入し、利用者である基地周辺住民の生活環境の向上並びに、利用者の増加を図る。</p> <p>【参考指標】 地域循環バス（Bルート：小川地区巡回） 利用者数/約1,110人/年 （平成29年度実数）</p>					
補助事業の内容	地域循環バス車両 1台					
補助事業の始期及び終期	平成30年度					
事業費及び交付金額		平成30年度				計
	事業費	円 3,207,600	円	円	円	円 3,207,600
	交付金額	2,900,000				2,900,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>【成果及び評価】 車両購入後に乗合バスへの改装作業が3月までかかることから、まだ路線運行が始まっていない状況であったが4月より配備が完了し運行を開始。令和元年9月に利用者増加を図るため当該車両運行のルートを変更し、併せて利用者アンケートを実施したところ、利用者からは9割方利用しやすいと回答をいただいております、自家用車等の交通手段がない利用者からは概ね成果はあると思料する。</p> <p>また、平成30年度利用実績より平成31年4月からの利用実績はルート内にある公共用施設を利用する市民が減ったことが一因かもしれないが減少してしまった。しかし、利用者からは運行数の増加を望む声もあり、利用者のニーズに合わせたルートを再考する等利用促進を図っていきたい。</p> <p>【周知の実施状況】 1) 購入車両に「平成30年度 特定防衛施設周辺整備調整交付金事業」と記載 2) 市ホームページに交付金を活用し、車両購入した旨を掲載した。</p>					
事業の改善措置及び今後の対応	利用者の大幅な減少を受けて、ルートの再考など利用促進対策を検討する。					
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	特になし					

事業評価書

補助事業名	百里飛行場関連特定事業(産業の振興に寄与する事業:観光情報誌作成事業)				
補助事業者名	小美玉市長 島田 穰一				
実施場所	小美玉市内				
補助事業の成果の目標	<p>本事業は、百里飛行場を含む観光情報を掲載する観光情報誌(以下「情報誌」という)の作成事業である。</p> <p>情報誌の作成・配布をする事により、市内外へ本市の観光情報の発信ができ、交流人口の拡大が図れ、産業の振興に繋げることができる。</p> <p>しかし現在本市では、情報誌は少なく、既存の物は情報が古く効率良く周知する事が困難である。</p> <p>よって、これらを改善するため、情報誌の作成・配布を行い、交流人口の拡大を促進し、周辺地域の観光人口及び産業振興を図ることで、周辺住民の生活環境の向上へ繋げる。</p> <p>【参考指標】茨城空港(配布場所)利用者数/約1,460,000人/年(平成29年実数) 空のえき「そ・ら・ら」利用者数/約480,300人/年(平成29年実数)</p>				
補助事業の内容	観光情報誌作成 冊子 15,000部				
補助事業の始期及び終期	単年事業:平成30年度				
事業費及び交付金額		平成29年度	平成30年度	平成31年度	計
	事業費	0 円	2,298,240 円	0 円	2,298,240 円
	交付金額	0 円	2,200,000 円	0 円	2,200,000 円
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>【補助事業の成果及び評価】</p> <p>情報誌を配布しアンケートを取ったところ、情報誌を見て本市に訪問したいと回答の方が9割いた。回答者の中には、空のえき「そ・ら・ら」をイベント時に訪れたい等市内各所に対する好評の回答があったことから、本事業を実施した結果、本市への来訪意欲の向上に繋がった。</p> <p>【地域住民への周知の実施状況】</p> <p>1)情報誌に「特定防衛施設周辺整備調整交付金事業」と記載。 2)市ホームページに交付金を活用し、情報誌を作成した旨を掲載した。</p>				
事業の改善措置及び今後の対応					
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	特になし				

事業評価書

補助事業名	教育文化施設：小美玉市立小川南小学校給食用備品購入			
補助事業者名	小美玉市長			
実施場所	小美玉市小川686-1（小川南小学校）			
補助事業の成果の目標	<p>当市では、統合小学校の建設事業を行っており、小川小学校及び橘小学校も統合され平成31年4月に小川南小学校として開校予定である。統合により児童の数や学級数も増えるため、既存の給食用備品だけでは統合後の対応が難しく、児童の学校生活に影響が出ることが懸念されている。小学校の統合に伴い、現在学校で使用している冷蔵庫は、各々小さく経年劣化がみられるので、新たに購入することにより、一括して全学級数分の食品が収納保管でき品質が保たれる。また、消毒保管機は、牛乳箱とパン箱が一回に殺菌消毒できることで効率よく、衛生面が保たれる。配膳台や配膳車等についても不足分を購入することにより、全学級同じものが使用でき、学校給食の運搬や配膳で児童が安全で利用しやすい教育環境の確保を図るものである。</p> <p>【参考指数】 喫食者数/延べ日数/延べ利用者数：534人/196日/104,664人 (平成29年5月1日現在の小川小学校・橘小学校)</p>			
補助事業の内容	給食用備品購入			
補助事業の始期及び終期	平成30年度			
事業費及び交付金		30年度		計
	事業費	円 3,996,000	円	円 3,996,000
	交付金額	円 3,000,000	円	円 3,000,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>【補助事業の成果及び評価】 子どもたちが利用しての感想は「運びやすくなった」「同じ物がそろっている」配膳員においては「一括して消毒保管できるので使いやすい」など、安全に利用しやすい教育環境の確保が図れたと考えられる。</p> <p>【地域住民への周知の実施状況】 ①市ホームページに掲載 ②学校広報誌等に掲載</p>			
事業の改善措置及び今後の対応	無			
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無			

事業評価書

補助事業名	交通施設:小美玉市道路整備基金(市道小10911号線道路改良事業)									
補助事業者名	小美玉市長									
実施場所	小美玉市上吉影地内外									
補助事業の成果の目標	<p>当路線は、上吉影、佐才、世楽の3地区と既設市道を結ぶ幹線道路である。 上記の既設市道沿いには、学校、文化施設等の公共施設や商業施設があるが、上記の地区から行くには迂回するしかなく、当路線の整備により、これら施設へのアクセス性を良くすることで、地域住民の生活環境の向上を図るものである。</p> <p>【参考指標】対象地区(上吉影地区)人口/世帯数 : 546人/204世帯 (佐才地区) 人口/世帯数 : 634人/237世帯 (世楽地区) 人口/世帯数 : 461人/216世帯 (平成30年4月1日現在)</p>									
補助事業の内容	道路改良工事 L=200.0m W=6.0m/12.5m									
補助事業の始期及び終期	基金の造成:平成23年度から平成30年度 基金の処分:平成24年度から令和元年度									
事業費及び交付金額	基金造成額(A)					基金 処分額 (B)	基金 残額 (A)-(B)	継続事業 に要した額		
	年度	交付金	市町村 費等	その他	運用益				計	
		円	円	円	円	円	円	円	円	円
	23	134,000,000				134,000,000	0	134,000,000	0	
	24	151,000,000				151,000,000	38,582,000	246,418,000	38,582,683	
	25	122,000,000				122,000,000	173,446,000	194,972,000	173,446,625	
	26	83,343,000				83,343,000	132,519,000	145,796,000	132,519,043	
	27	89,021,000				89,021,000	45,303,000	189,514,000	45,304,449	
	28	58,322,000				58,322,000	95,744,000	152,092,000	95,744,120	
	29	43,176,000				43,176,000	85,266,000	110,002,000	85,266,000	
30	20,000,000				20,000,000	50,263,000	79,739,000	50,263,200		
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>[補助事業の成果及び評価] 本工事が完了したことにより、一部区間で供用を開始した。地元区長に対して意見を聴取したところ、買い物に出かけるときも、目的地まで時間をかけず、スムーズに行けるようになったとのことで地域住民の生活環境の向上を図られたと考える。</p> <p>[地域住民への周知の実施状況] 本事業が交付金を活用した事業である旨を、 ①地区回覧により周知 ②工事期間中、工事看板に記載 ③市ホームページに掲載</p>									
事業の改善措置及び今後の対応	無									
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無									

事業評価書

補助事業名	福祉に関する事業：小美玉市公共用バス整備基金							
補助事業者名	小美玉市長							
実施場所	小美玉市内							
補助事業の成果の目標	<p>現在、小美玉市では地域住民の社会福祉活動の一助として市が所有する公共用バスを利用する事業等を行う各種団体に貸し出している。</p> <p>当市の公共用バスは、既に10年以上を経過しており、総走行距離も20万km以上であることから、修理や部品交換が年々多くなっており、また安全対策の面からも懸念される状況である。</p> <p>そこで、常に万全な車両で貸し出すことができるよう、現有車両を修理、点検、更新することで、円滑な社会福祉活動の一助として支援ができる環境の確保を図る。</p> <p>【参考指標】 平成30年度公共用バス利用団体/利用日数 延べ249団体/延べ262日</p>							
補助事業の内容	市が所有する公共用バスの修繕及び更新							
補助事業の始期及び終期	基金の造成：平成25年度から平成36年度 基金の処分：平成26年度から平成36年度							
事業費及び交付金額	基金造成額 (A)					基金 処分額 (B)	基金 残額 (A)-(B)	継続事業 に要した額
	年度	交付金	市町村 費等	その他	運用益			
		円	円	円	円	円	円	円
	25	8,900,000				8,900,000	8,900,000	
	26	8,000,000				8,000,000	8,314,000	8,586,000
	27	20,000,000				20,000,000	27,246,000	1,069,264
	28	9,680,000				9,680,000	35,617,000	1,309,674
29	6,000,000				6,000,000	39,067,000	2,557,885	
30	6,000,000				6,000,000	44,287,000	784,624	
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>[補助事業の成果及び評価] 利用対象である各種団体に順調に活用されている。 利用団体にアンケート等調査を行った結果、多くの団体が「次回も利用したい」「出発時指定時刻前にバスが到着した」等の意見が多く好評である。このことから当事業により、円滑な社会福祉活動の一助として支援ができる環境を確保できたものと考え。</p> <p>[地域住民への周知の実施状況] ①バス側面にステッカーを貼り、車内にも掲示 ②市ホームページに掲載</p>							
事業の改善措置及び今後の対応	無							
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無							

注：1 基金事業の場合には、事業費及び交付金額の欄に、年度ごとの基金造成額（交付金・市町村費・その他・運用益・計）、基金処分額及び基金残額についても記載すること。

2 事業の評価に際して第三者機関を活用した場合は、当該第三者期間の名称及び構成員等を記載すること。

事業評価書

補助事業名	教育、スポーツ及び文化に関する事業:小美玉市教育活動支援基金									
補助事業者名	小美玉市長									
実施場所	小美玉市内									
補助事業の成果の目標	<p>現在、小美玉市立小中学校では、部活動における各種大会や授業の一環としての自然教室等の各種教育活動における児童・生徒の移動手段として、その都度民間バスを借上げることにより、移動手段を確保しているところである。</p> <p>このような教育活動は、児童・生徒の豊かな心と個性・創造性を育む教育の推進及び地域の特色を活かした教育を展開するために必要としているものであり、当事業を行うことにより、児童・生徒が安定的かつ円滑に教育活動に参加できる環境の確保を図る。</p> <p>【参考指標】 平成26年度の上記バス借上げの延べ件数/延べ日数/利用人数: 延べ343件/延べ295日/4,388人</p>									
補助事業の内容	自然教室、音楽のつどい等の事業において児童・生徒の参加を必要とする事業に伴う自動車借上									
補助事業の始期及び終期	基金の造成:平成27年度から平成33年度 基金の処分:平成28年度から平成37年度									
事業費及び交付金額	基金造成額 (A)					基金 処分類 (B)	基金 残額 (A)-(B)	継続事業 に要した額		
	年度	交付金	市町村 費等	その他	運用益				計	円
	27	30,000,000				30,000,000		30,000,000		
	28	0				0	4,680,000	25,320,000	4,681,260	
	29	0				0	4,040,000	21,280,000	4,040,855	
30	0				0	4,764,000	16,516,000	4,764,537		
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>【補助事業の成果及び評価】 各学校の教職員等にアンケートを実施したところ、14校全てから、バスを借上げることで児童・生徒が教育活動に参加できる環境が確保できているとの回答があったため目標は達成したと判断する。</p> <p>【地域住民への周知の実施状況】 ①学校だよりにより周知 ②市ホームページに掲載</p>									
事業の改善措置及び今後の対応	無									
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無									